

なん
ぽろ

議会だより



ビニールハウス内のマリーゴールド

第1回
定例会

3月9日～16日

地域消費喚起・生活支援型事業
(プレミアム商品券発行補助金)
について可決

3月定例会は3月9日に開会し、平成27年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、平成26年度各会計補正予算など10議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、また平成27年度各会計予算案と関連条例案など11議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。(審議内容は20ページ)

2日目は3名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する理事者の考え方をただしました。本会議は16日に再開し、平成27年度各会計予算案、条例制定、意見書案など14議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

定例会審議結果

平成26年度補正予算

○一般会計 補正予算（第7号）

温泉基金積立金、地域住民生活等緊急支援事業、食糧供給基盤強化特別対策事業及び経営体育成基盤整備事業負担金、夕張太公改修工事、町民パーク整備事業費の追加。後期高齢者広域連合負担金の減額並びに年度末における事務事業の精査によるものです。

質疑

議員 地域消費喚起・生活支援型事業のプレミアム商品券は、なぜ、商工会会員事業所だけに限定したのか。農業生産法人等の利用はできないのか。



[FRP] 用語豆辞典

F RPとは、F ibre r gl ass R e i n forced Pl as t icの略で、ガラス繊維にポリエステル樹脂などの樹脂をしみ込ませ、何層にも積層して硬化させた、繊維強化合成樹脂をいいます。F RPは強さと軽さを併せ持つた材料です。

会や事業者と確認していくます。

○国民健康保険特別会計 補正予算（第3号）

主に歳入では、共同事業交付金の追加、国庫支出金及び道支出金の減額。歳出では、保険給付費で一般被保険者療養給付費、高額療養費の追加。共同事業拠出金では、高額医療拠出金並びに保険財政安定化事業拠出金の減額。諸支出金では、国庫支出金等清算金の追加、並びに年度末における各種財源の精査によるものです。

議員 新設予定の町民ビルは、議会特別委員会で水槽と基礎を合わせて総重量的に軽くて安価なステンレス製がふさわしいという結論に達し、町長に文書で提案したが、なぜF RP製となつたのか。

町長

議会の御意見も参考にしながら、実施設計業者と検討しています。総合的に判断して、メンテナンスや安全性、耐久性も含め、将来的にベストであると判断したので、当初どおりF RP製で提案しました。

○病院事業会計 補正予算（第4号）

主に業務予定量の見直し、一般会計からの繰入れ及び年度末における事務事業費の精査によるもので



○下水道事業特別会計 補正予算（第4号）

主に歳入では、財源充当の変更による一般会計繰入金、江別市南幌関連工事負担金の精査による町債の減額。歳出では、管理費で江別市への污水処理に要する維持管理負担金及び消費税確定、建設費で江別市南幌関連工事負担金の精査、公債費で確定利率による減額によるものです。

条例制定等

○南幌町町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例(改正)

南幌町住宅リフォーム等助成金交付要綱の制定に伴い一部改正が必要なため。

○介護保険特別会計 補正予算（第3号）

主に歳入では、保険給付費の増額に伴う国庫支出金及び交付金の追加。歳出では、介護保険業務システムの改修、保険給付費の追加、並びに年度末における各種財源の精査によるものです。

○後期高齢者医療特別会計 補正予算（第2号）

主に歳入では、保険料及び一般会計繰入金の精査。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の減額によるものです。



○南幌町いじめ問題専門委員会条例(制定)

南幌町いじめ防止基本方針の策定に伴い条例制定するため。

○南幌町学童保育条例 (改正)

児童福祉法の一部改正に伴い、保育対象児童を拡大するため。

本年の夏場をめぐる商品券を発行するよう国から通知がきており、今後、商工

一般質問

3人の議員が一般質問に立ち
町長の考え方をただしました

問 今後の高齢化対策は

答

地域づくりサロン事業等を実施

熊木 恵子 議員



熊木議員

高齢化のピークを迎える時期に向け、在宅医療と介護の連携等の取り組みを本格化していくための第6期南幌町介護保険事業計画・高齢者福祉計画が示されました。

①現在取り組まれている保健福祉の事業と平成27年度から始まる事業を、住民参加を含めどのように実施するのか。
②今後、保健師や専門職の役割はますます重要になると考えるが、職員の加配や増員をすることで、さらなる予防医療や健康増進につながると思う。平成26年度は3名、平成28年度は5名の職員が定年退職する予定

であり、新卒に加え社会人枠や専門職の採用が必要と思ふが、町長の考え方を伺います。

町長

平成27年度から3年間を計画期間とした第6期計画を策定しました。今回の計

画は、昭和22年から昭和24年に生まれた団塊の世代の方々が後期高齢者となる平成37年を見据えて、住み慣れた地域で生活を送っていくために「地域包括ケアシステム」の構築と具体的な事業を盛り込み、今後10年間の基本的方向を示す。

町長 2月16日現在で全国から3,587件もの温かい応援寄附金が寄せられ、図書の購入や高齢者世帯の除雪などへ活用させていただいています。本町に来ていただけるよう、魅力あるメニューづくりに心掛けています。生産者の顔が見える取り組みは、今後検討します。

その他他の質問

ふるさと納税制度を活用し本町の魅力をPRすることは、今後まちづくりに大きくつながると思う。本町に訪れたいと思うような企画や、米などの謝礼品に生産者のメッセージを添付し、その後の購買につながる企画が必要ではな



行政区で開催した「地域の福祉を語ろう会」



問

新設町民プールを将来通年運用に

答

問

断熱等を考えると難しい

志賀浦 学 議員



志賀浦議員

老朽化した町民プールに代わる施設整備として、幅広い年齢層の町民が利用可能なプール建設が予定されている。

①約6億6千万円と大きな予算を伴う事業計画が具体的になるにつれ、町民より「通年利用ができる健康プールではなかつたのか」等の声が多くあることから、広く町民に説明し、意見を計画に反映すべきと考える。

通年利用は維持管理費が増大するので難しいと理解するが、健康プールをうたい歩行用プールが併設されるのであれば、冬期間は運動不足になりがちなので、将来的に通年で使えるようにする構想はあるのか。

②FRP製水槽における漏水に対する補償と責任はどうあるのか伺う。

町長

①幅広い年齢層の利用を見込むことから一般用のプールに加え、中高年の方々の健康増進を目的とした水中歩行専用プール、さらには幼児用プールを設置し、機能の充実を図ります。また、加温することにより、開設期間も現在の町営プールより前後1カ月程度延長した5月から10月までの半年間とし、利用者数の拡大を目指します。町民の皆さんには、行政懇談会で現況報告をしたいと考えています。

都市整備課 参事

型も検討しましたが、ランニングコストと利用者数を考え季節型にしました。断熱等を考えると将来的にもできないと思います。

②FRPの製造メーカー補償は5年間です。施工業者を介しての補償に対しても、設計業者と協議します。

その他の質問

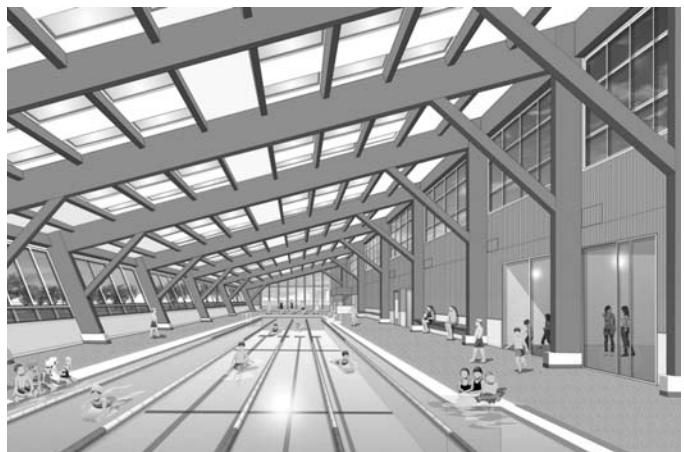
冬期間も利用できる通年

町政執行方針に対しても伺います。町立病院の病院経営改善計画の進捗状況と成果は。

保健福祉課と医師が連携し、地域に出向いて行った健診講座の開催などは、町民と病院の信頼関係をつくり上げるための効果もあり、その結果、1日平均の外来患者数は、平成26年12月末で前年同期对比4・5人の増となっており、今後においても新規患者数の増加が図れるものと思われます。



町民プール完成予想図(外観)



町民プール完成予想図(内観)

問

答

子育て世代に一戸建て公営住宅を

財政負担等を総じて検討

佐藤 妙子 議員



佐
藤
議
員

子育て世代は、今後の経済状況に不安を抱き、マイホームを諦めている方も多くいます。そこで豊かなライフスタイルを本町で応援してはどうかと考えます。若者定住促進を推進するには住環境整備と大胆な取り組みが必要です。子育て世代に、道内ではまだ少ない一戸建て住宅を整備することこそ地方創生の起爆剤になると思います。



町
長

子育て世代に対するの住環境支援も重要な課題と考え、まちづくり戦略チームで定住促進策も含め数々のアイデアが見出され、具体的な政策と事業づくりへの検討を進めているところであります。また、平成27年度策定予定の南幌版まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、地方自治体における中長期的な施策づくりとその実現に向けて事業展開し、子育て世代に対するどのような支援が必要か、民間賃貸住宅の供給状況、財政負担等を総じて検討を進めます。

その他の質問

☞問 本町のボランティア活動は多様な分野に広がっている。活動したいと考える方に適切な情報や機会を提供し、参加しやすい環境が必要だと考えるが。

①総合窓口、案内所の設置は。

②介護支援ボランティア、ボイント事業の進め方は。



町
長

①現在、総合窓口は設けていませんが、役場各所管でお問い合わせに対応しています。

②本町らしい事業を構築していくため、先進地視察や情報収集など調査検討を行ない、平成28年度より実施します。



予 算 審 査 特 別 委 員 会

予算審査特別委員会を、3月11日、12日、13日に開催し、審議の結果、平成27年度各会計予算案(一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)及び関連議案は賛成多数で「可決すべきもの」と決定し本会議において報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

まちづくり課 地域課題に取り組む事業や、新たな工事を加える事業を対象としていきたいと考えています。
まちづくり委員会 まちづくり活動支援事業は570万円の予算計上されているが、全額執行できるのか。また、5年後の事業だが、毎年同額計上されるのか。



まちづくり課 巡回バスは生涯学習センターに停車するのか。
巡回バスの運行予定 ニーズを把握するためにアンケート調査を行う予定です。その中で生涯学習センターに停車を希望するかなどを協議していきます。

民生費
まちづくり課 障がいの方への対応は。通報した内容が消防に伝わっていることがわかるよう、パトロイトを接続し、ライト点灯により受信確認を行っています。
保健福祉課 緊急通報装置で聴覚障害の声を伺い活用していく、後年時に向けてステークホルダーズの修繕等も検討しています。

住民課 全町816灯の防犯灯のうち、平成26年度末で66灯、普及率は8・1%です。平成27年度は1灯4万8千円として2万4千円の補助、50灯分を予算計上しています。

事業期間は平成27年度から5ヵ年ですが、総合計画や地方創生の議論がこれから進むため、事業内容の大 幅な見直しや延長も考えられます。毎年度、評価をしながら検討を進めていきます。

農林水産業費
産業振興課 グリーンツーリズム推進事業の新たな取り組みは。農家の皆さんに再度事業を



保健福祉課 現在あいくる内で実施されている介護保険事業や早期療育事業などの参加者の声を伺い活用していく、後年時に向けてステークホルダーズの修繕等も検討しています。

衛生費

土木費
都市整備課 公園施設や街路灯に防犯カメラの設置検討は。公園内は悪質ないたずらや不法投棄が最近無いことから、設置検討はしていません。道路に関しては今後検討する余地はあると考えています。



周知していき、少しでも南幌に滞在してもらう、また再度南幌に訪れていただけるような取り組みについて協議していきます。

委員 いじめ問題専門委員会条例について、専門委員が4名となっているがどういうメンバーか。
生涯学習課 委員の内訳は弁護士、中学校のスクールカウンセラー、学識経験者を予定しています。

教育費



委員 緑化活動推進事業でふるさと応援基金を充て、花の苗2万8千株を購入するが、事業の内容は。市街地域において町内会で花を植えていただきます。花の種類は黄色いマリーゴールドを予定しています。

委員 中学校校舎耐震化工事に伴う校舎内部の改修予定内容は。
生涯学習課 内部の改修は天井と内壁の塗装、給排水設備とボイラー更新、校舎体育館の照明器具のLED化を予定しています。



生涯学習課 1月の第3回検定が終わつた時点で新たに3級を取得した生徒は、中学2年生が6名、1年生が2名で計8名です。職員は昨年同様1名の引率を予定しています。

委員 中学生国際留学プログラム事業について、1月に英検が終わつたが、今現在3級の合格者は何名か。また、留学に同行する職員の体制は。

委員 新規事業の地域づくりサロン事業の内容は。
保健福祉課 高齢者の外出の機会や地域の方とのつながりを創出するため、気軽に立ち寄れるカフェサロンを町内2カ所で試行的に開設します。

介護保険特別会計

500ポイントごとに500円のチケットを作り、町内で使えるよう検討しています。

委員 健康ポイント事業の内容とねらいは。

国民健康保険特別会計

500ポイント、人間ドックは1,000ポイント、特定健診と一緒に行く検診を受診した方は、がん検診1項目ごとに100ポイントを付与します。

委員 特定健診と人間ドックのどちらかを必ず受けたいただかなければポイントは付与されません。特定健診は500ポイント、人間ドックは1,000ポイント、特定健診と一緒にがん検診を受診した方は、がん検診1項目ごとに100ポイントを付与します。

あちのがんばいやさん

「南幌町で頑張る人」を紹介します。

花仙人代表 松本 豊美さん（三重自治区）

今年度、ふるさと応援基金を活用した緑化活動推進事業として、稻穂地区も含めた市街地区の緑地帯へ花苗2万8千株が植栽されます。花仙人として頑張って来られた松本豊美さんは、「花仙人の先輩方にたくさん教えられていていたので継続できました。今は2軒になった花仙人ですが、新しく3軒の仲間を迎える花づくりの楽しさを教え合いながら、若い世代にバトンタッチしていきたい。温度管理など難しく失敗しましたこともあるけれど、公共施設や本町を訪れる方が、花を愛することで心が癒され町が元気になれば嬉しいと思う。1人ではなく多くの花を栽培できないけれど、地域で支えあって苗を育てる人を増やし、花いっぱいの町になるように広げていきたい。」とビニールハウスの中で抱負を語ってくれました。



3月15日に播種したマリーゴールドは5月下旬に植栽される予定です。

議会広報委員：熊木 恵子

町民に身近な議会を目指して

- 平成26年12月6日（土）18時～20時
北町「ミニユーティーセンター」
- 平成26年12月7日（日）18時～20時
ピューロー
- 平成27年2月28日（土）18時～20時
晩翠地区集落センター
- 平成27年3月1日（日）18時～20時
ピューロー

南幌町議会 議会報告懇談会

南幌町議会報告懇談会



議会改革

日頃の議会活動やまちづくりへの取り組みなどについて、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告会を開催しました。たくさんのご意見をいただきましたが、紙面の都合上一部抜粋してお知らせします。

住民

議員の政務調査はどうのように生かされているか。また、政務活動費は公表する考えはあるのか。

議員

政務調査は先進地へ行き、それを議員間で報告して、これからまちづくりに反映できるよう十分討議していますし、各担当課に申し入れています。

政務活動費の関係はしっかりと精査して、皆様にお見せできる体制はとっています。

住民

議会報告懇談会に町民が来ないのは住民が愛想尽かしている面もあると思ふ。より住民が多く集まる形で、住民の声をより聴ける形で開催する内容ではなければならないと思う。

議員 懇談会はまだ全町を回れていません。全町を回るよう取り組み、ご意見をいただきながら議論していきます。

住民

議会傍聴後に議員と話しができるように、傍聴した人が何か提案できる部屋を作れないか。

議員 今後検討していくま

議員

より多く読んでいた

だくということでは工夫をしながらやっていますが、誌面が足りない面もあるので予算要求していきます。また、定例会の様子を録画したDVDの貸出を行っているので、ご活用願います。



議事堂傍聴席



議事堂



安心安全

住民 最近、南幌町でも犯罪や事件が起きている。安心安全の町にしてほしいし、何かあつてからでは遅いと思うので、年次計画で防犯カメラを設置してほしい。

住民 この問題については、町に伝え、議会でも検討していきます。

議員 住民が狭くバス停に立っていることも難しいので、歩道を早急につけてほしい。

住民 南幌町単独で歩道をつけても江別市が行わなければ有効な道路だとは言えり捉えて考えていきます。

議員 南幌町が帰りのバスを待つていて、寒い思いをしている。生涯学習センターでお茶を飲むことができる場所をつくってあげられないか。

定例会の録画映像DVDの貸し出しについて

身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、本会議を録画したDVDの貸し出しを行っています。

録画映像DVDの貸し出しには貸出申請書の提出、その他確認事項がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

まちづくり

住民 晩翠遊水地の管理はどうなるのか。草だらけにするのか。また、農家の人が何か耕作するのか。

議員 利活用については遊水地利活用計画検討委員会の基本方針に基づいて関係機関と町とで協議しています。利活用に必要な整備は国から占用の許可を得て、町が整備を行い維持管理を行っていきます。利活用の形態としては、採草地、自然で子どもたちが遊べるものを作ったりすることを検討していると聞いています。

住民 南幌高校は現在定員割れとなっていて、このままいくと廃校になってしまふと思う。

議員 子どもの数が減っているのは事実ですが、地元の入学が少ない中で、他の町から高校へ来てもらうことも一つの手段であると考えます。

南幌高校 高校生

住民 南幌温泉の入館料が4月から50円上がるが。

議員 消費税が昨年から上がり、諸経費等がかかるため50円上げるということです。入湯税は変わりません。

住民 通学費補助は全ての高校生に支給できないか。

議員 バスの定期券の証明が無ければ補助を受けられません。通学費補助事業もあり方については、議会でも議論しています。



議会懇談会をご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくことと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。
- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見等を議員が直接伺います。

その他

- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。
- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。